

消防本部からのお知らせ

秋の火災予防運動 11月4日(日)～11月10日(土)

『消すまでは 出ない行かない 離れない』

これからの季節は、空気が乾燥して火災が発生しやすくなります。また、寒くなり火気を取り扱う機会が増えます。火災はちょっとした不注意から発生しますので、火の取り扱いには十分注意しましょう。



住宅防火いのちを守る7つのポイント

【3つの習慣】

- ①寝たばこは絶対やめる。
- ②ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ③ガスこんろのそばを離れるときは、必ず火を消す。

【4つの対策】

- ①逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ②寝具や衣類からの火災を防ぐため、防災製品を使用する。
- ③火災を小さいうちに消すために、消火器を設置し、使い方をマスターする。
- ④お年寄りや体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

お問い合わせ 消防本部予防課 ☎43-4151

ホームタンクの事故防止対策は万全ですか？

毎年冬を迎える時期には、家庭や事業所に設置している灯油用ホームタンクからの漏えい事故が多く発生しています。事故を未然に防止するためには、日常点検や自主的な安全対策が重要です。

◆こんな事故が発生しています

- タンク本体 固定不良、落雪による転倒
- 配管 接続不良、破損行為による漏えい、草刈りや除雪による破損
- ストレーナー 経年劣化、積雪や落雪による破損
- 水抜きバルブ 締め付け不良、破損などによる漏えい



ほかにも、ホームタンクからポリ容器などへ小分けする際、目を離している間に大量に流出させてしまったという例もあります。灯油を扱うときは、絶対にその場を離れないようにしましょう。

お問い合わせ 消防本部予防課 ☎43-4151

通報は慌てず！
早く！正確に！

11月9日は『119番の日』です

いざというときに備え、電話機のそばに住所、世帯主の名前、電話番号などを書いたメモを貼っておくなど、落ち着いて正確な通報ができるよう、この機会に正しい119番のかけ方をご確認ください。屋外などで住所が分からない場合は、近くの目標物を教えてください。その後で詳しい状況をお聞きしますので、慌てず落ち着いて教えてください。

皆さんの正しい119番通報が、迅速・的確な消防活動につながります。

119番通報5つのポイント

- ①火災・救急の別 「火事です」または「救急です」とはっきり言ってください。
- ②場所 住所は正しく言ってください。目標となるビルや公園、交差点なども伝えてください。
- ③火災・事故の状況 何が、誰が、どうしたかを正確にわかりやすく言ってください。
- ④通報者の氏名、連絡先 私の名前は「大館太郎です」電話番号は「〇〇-xxxxです」などとはっきり言ってください。
- ⑤携帯電話からの通報 再度連絡する場合がありますので、しばらくの間は電話を使わずに現場近くの安全な場所にてください。
※携帯電話からの通報は場所の特定に時間がかかる事が多く、出動が遅れる原因にもなります。お近くに固定電話があればそちらを使用して通報してください。

お問い合わせ 消防本部警防課 ☎43-4151